

## 新潟大学医学部放射線医学教室 業績 和文論文 1999 年～1990 年

----1999----

1. 酒井邦夫、松本康男、杉田公：肺癌に対する一日多分割照射を用いた化学放射線療法(Chemoradiotherapy)、肺癌の臨床 2：31-37, 1999
2. 酒井邦夫、松本康男、杉田公：Ⅱ-Ⅲ期食道癌に対する 5-FU 少量持続静注同時併用放射線療法の局所効果、癌の臨床 45：287-288, 1999
3. 酒井邦夫：新しい放射線療法とその適応、総合臨床 48：1831-1834, 1999
4. 酒井邦夫：食道癌の化学放射線療法、日本放射線腫瘍学会誌 11(4)：239-246, 1999
5. 酒井邦夫：放射線治療の標準化、新医療 12：44-46, 1999
6. 古泉直也、酒井邦夫：狭い範囲のびまん性陰影、診断と治療 87：97-103, 1999
7. 古泉直也、森田哲郎、酒井邦夫、斎藤友雄、木原好則、奥泉美奈、楚山真樹、石川浩志、他：肺癌の予防と診断の実際肺癌の診断の進め方肺野末梢小型陰影の鑑別のポイントと診断のコツ-CT 所見と CT ガイド経皮肺生検、Medical Practice 16(4)：597-600, 1999
8. 高橋直也、岡本浩一郎、木村元政、酒井邦夫、他：MRI における上咽頭腫瘍の鑑別診断、臨床放射線 44：993-999, 1999
9. 尾崎利郎、関裕史、木村元政、吉村宣彦、山本哲史、加村毅、酒井邦夫：経カテーテル的動脈塞栓術にて救命しえた分娩後多量出血の 2 例、IVR 会誌 14(4)：479-482, 1999
10. 松本康男、酒井邦夫：放射線治療後における二次癌、癌と化学療法 26(13)：2015-2020, 1999
11. 高野徹、佐藤敏輝、塚田博、高木聡、他：10 年後に肝と食道に転移した胃悪性神経鞘腫の 1 例、画像診断 19(1)：72-76, 1999
12. 中澤俊郎、森田哲郎、木原好則、他：経皮的ドレナージ後に膿胸を併発した化膿性肝膿瘍の一例、胆と膵 20：249-253, 1999
13. 植松孝悦、椎名真、小林晋一、清水克英、斎藤真理、小田純一、石川浩志、他：乳房温存術における 3 次元ヘリカル CT の有用性-断端陽性率の検討一、県立がんセンター新潟病院誌 38(1)：35-38, 1999
14. 植松孝悦：ヘリカル CT の現状-MRM との役割分担一、臨床放射線 44(5)：581-589, 1999
15. 植松孝悦、他：三次元ヘリカル CT による乳癌手術シミュレーション、外科治療 81(6)：675-682, 1999
16. 植松孝悦、他：造影ヘリカル CT による乳癌の診断制度-腫瘍径と乳管内進展距離について一、乳癌の臨床 14(4)：554-555, 1999
17. 加村毅、木村元政、尾崎利郎、山本哲史、関裕史、三浦努、酒井邦夫、他：MRI T2 強調画像で低信号を呈し、SPI0 造影 T1 強調画像で辺縁に輪状高信号を呈した AFP 産生胃癌肝転移の 1 例、腹部画像診断アトラス IV(腹部放射線研究会 編)：60-61, 1999
18. 柳澤善計、加村毅、他：診断に苦慮した低分化型肝血管肉腫の 1 例、消化器画像 1：78-84, 1999
19. 石川浩志、斎藤真理、植松孝悦、清水克英、小林晋一：80 歳以上の高齢者食道癌に対する放射線治療、臨床放射線 44(7)：823-828, 1999
20. 鈴木昌志、古泉直也、酒井邦夫、他：呼吸不全を呈した CD8 欠損症の CT 所見、臨床放射線 44(7)：847-850, 1999
21. 斎藤真理、植松孝悦、他：密封小線源治療、県立がんセンター新潟病院医誌 38：28-34, 1999
22. 新妻伸二、古泉直也、他：これからの肺がん検診 CT 肺がん検診の現状 CT を使用した胸部精検と肺ドック(肺がん一次検診)3 年半の経験、日本胸部臨床 58 増刊：116-122, 1999
23. 新妻伸二、古泉直也、他：一次及び二次肺がん CT 検診 3 年半の経験、胸部 CT 検診 6(2)：133-136, 1999
24. 中澤俊郎、森田哲郎、他：急性胃蜂窩織炎の 1 例、日本消化器病学会雑誌 96(11)：1266-1270, 1999
25. 柳澤善計、加村毅、他：診断に苦慮した低分化型肝血管肉腫の 1 例、消化器画像 1(1)：78-84, 1999
26. 赤坂紀幸、岡本浩一郎、他：腸管出血性大腸菌 O-157 感染により溶血性尿毒症症候群と中枢神経病変を呈した 1 例における頭部 CT, MRI の推移、脳と発達 31(6)：565-570, 1999
27. 吉村宣彦、他：【症例で見ると高速ラセン CT の実際】CT Angiography 心・大血管大動脈瘤の 3D-CT アンギオグラフィ電子ビーム CT とヘリカル CT との比較を中心に、INNERVISION14(13)：48-51, 1999
28. 渡辺俊明：【核医学は未来を開く】インターネット、イントラネットにおける核医学画像システムの運用、新医療 26(3)：87-89, 1999
29. 小田野行男：99mTc-ECD SPECT と 1 点静脈採血を用いた 3-compartment model に基づく非侵襲的で簡便な新しい脳血流測定法、INNERVISION14(8)：83-90, 1999

1. 酒井邦夫、末山博男、松本康男：非小細胞肺癌の放射線療法、肺癌の臨床 1(1)：100-109, 1998
2. 酒井邦夫、末山博男、松本康男：放射線難治癌における化学療法剤の臨床的意義、癌の臨床 44：167-170, 1998
3. 古泉直也、斎藤友雄、酒井邦夫：早期肺癌の高分解能 CT 診断、分子呼吸器病 2：23-28, 1998
4. 古泉直也、斎藤友雄、酒井邦夫、森田哲郎、奥泉美奈、石川浩志、海津元樹、石川和宏：早期肺癌の HRCT 所見、臨床画像 14：296-306, 1998
5. 古泉直也、斎藤友雄、酒井邦夫、木原好則、森田哲郎、奥泉美奈、茂古沼達之：Noguchi 分類と高分解能 CT 像、画像診断 18：1194-1201, 1998
6. 笹本龍太、古泉直也、酒井邦夫、木原好則、斎藤友雄、森田哲郎、松月由子、他：CT ガイド下経皮肺生検による肺腺癌組織構築診断の試み、肺癌 38：99-107, 1998
7. 岡本浩一郎、古澤哲哉、伊藤寿介、酒井邦夫：中枢神経系の MRI 診断—最近の進歩、新潟医学会雑誌 112(5)：227-230, 1998
8. 岡本浩一郎、林孝文：口腔癌所属リンパ節の初期転移巣の画像診断精度に関する基礎的研究、Innervision 13(9)：53, 1998
9. 馬場恵利子、鈴木恵子、高木峰夫、長谷川茂、阿部春樹、姉崎利治、辻省次、岡本浩一郎：小児視神経炎 5 例の MRI 所見、日本眼科紀要 49(6)：529-533, 1998
10. 樋口健史、酒井邦夫：骨関節 MRI における最近の進歩、新潟医学会雑誌 112(5)：230-236, 1998
11. 加村毅、木村元政、山本哲史、酒井邦夫：腹部の MRI 診断における最近の進歩、新潟医学会雑誌 112(5)：241-254, 1998
12. 加村毅、木村元政、山本哲史、尾崎利郎、関裕史、吉村宣彦、酒井邦夫、他：超常磁性酸化鉄(SPIO)造影 MRI のみで微小病変を検出できた転移性肝腫瘍の 1 例、映像情報 MEDICAL 30(16)：1033-1035, 1998
13. 森田哲郎、古泉直也、酒井邦夫、斎藤友雄、木原好則、奥泉美奈、他：肺内小病変に対する CT ガイド下針生検—補助器具を用いた生検法と針生検の応用手技—、映像情報 MEDICAL30：1343-1347, 1998
14. 尾崎利郎、加村毅、酒井邦夫、木村元政、関裕史、三浦努、吉村宣彦、山本哲史、内山早苗、清野泰之、他：慢性肝疾患にみられる腫瘍濃染を示さない肝結節性病変の臨床経過、臨床放射線 43：479-483, 1998
15. 松本康男、酒井邦夫、杉田公、土田恵美子、笹本龍太、斎藤真理、末山博男、斎藤 明、伊藤 猛、横山道夫：食道癌に対する 5-FU および CDDP + 5-FU 少量持続静注同時併用放射線治療における早期有害事象の検討、臨床放射線 43：1819-1826, 1998
16. 松本康男、酒井邦夫、末山博男、杉田公、土田恵美子、笹本龍太：進行食道癌放射線治療 3 年半後に発症した放射線性胸膜炎(胸水)・心外膜炎の 1 例、臨床放射線 43：1857-1860, 1998
17. 吉村宣彦、木村元政、尾崎利郎、高橋直也、酒井邦夫：壁肥厚部に 123I-MIBG の洗い出し亢進を認めた肥大型心筋症の 2 小児例、核医学 35：315-320, 1998
18. 吉村宣彦、木村元政：心臓 MRI における最近の進歩、新潟医学会雑誌 112(5)：236-241, 1998
19. 関 裕史：Dynamic MRI による子宮癌の診断、新潟医学会雑誌 112(5)：254-258, 1998
20. 斎藤友雄：小型肺腺癌における高分解能 CT と病理組織像(Noguchi 分類)との対比、日本医学放射線学会雑誌 58：197-203, 1998
21. 植松孝悦：乳癌のヘリカル CT、画像診断 18(9)：931-937, 1998
22. 植松孝悦：3 次元造影ヘリカル CT による手術シミュレーション、新医療 10：82-85, 1998
23. 植松孝悦：造影ヘリカル CT による乳癌診断、新潟医師会報 330：2-7, 1998
24. 小田野行男、大久保真樹、野口栄吉、大滝広雄、柴木充朗、土橋幸夫：分割投与 99mTc-ECD SPECT と静脈採血による Diamox 負荷前後の脳血流測定法、核医学 35：71-75, 1998
25. 小田野行男、大久保真樹、野口栄吉、大滝広雄、柴木充朗、土橋幸夫：99mTc-ECD SPECT を用いた 3-コンパートメントモデルに基づく新しい脳血流測定法、核医学 35：697-703, 1998
26. 鍋田尚樹、木村元政、他：CABG 術後評価における EBT と 201Tl 心筋シンチの比較、新潟核医学懇話会誌 25：25-29, 1998
27. 中村裕一、木村元政、他：拡張型心筋症に対する  $\beta$  遮断剤療法の奏功性予測—201Tl 心筋シンチを用いた検討—、新潟核医学懇話会誌 26:33-38, 1998
28. 斎藤真理、笹本龍太、他：低線量イリジウム線源による気管支腔内照射について 3 施設の集計、日本放射線腫瘍学会雑誌 10：135-143, 1998
29. 斎藤真理、笹本龍太、植松孝悦、石川浩志：再発食道癌に対する腔内照射腔内加温同時併用治療、臨床放射線 43：953-957, 1998
30. 小田純一、古泉直也、斎藤友雄、木原好則：肺癌集団検診における比較読影、画像診断 18：1145-1152, 1998

31. 内田守昭、加村毅、他：広範な門脈塞栓と急性肝不全をともなったび漫型胆管細胞癌の1剖検例、日本消化器病学会雑誌 95 : 791-795, 1998
32. 中澤俊郎、木原好則、他：糖尿病患者において肝膿瘍経過観察中に発症した網膜膿瘍の1例、肝と膵 19 : 887-891, 1998
33. 久保敦司、小田野行男、他：第4回全国核医学診療実態調査報告、核医学 35(9) : 939-953, 1998
34. 大久保真樹、小田野行男、野口栄吉、他：Diamox 負荷時における 123I-IMP SPECT を用いたマイクロスフェアモデルに基づく局所脳血流量定量法の精度の検討、核医学 35(3) : 147-151, 1998
35. 酒井邦夫、末山博男、伊藤猛、他：Chemo-Radiation TherapyⅢ期非小細胞肺癌に対する cisplatin 少量持続静注と放射線の同時併用療法、癌の臨床 44(2) : 263-264, 1998

----1997----

1. 森田哲郎、塚田博、佐藤敏輝、原敬治、酒井邦夫、他：直腸癌手術後、子宮にリンパ行性転移をきたした1例、臨床放射線 42 : 287-290, 1997
2. 森田哲郎、古泉直也、酒井邦夫、木原好則、斎藤友雄、楚山真樹、内山早苗、塚田博：新しい補助器具を用いた CT ガイド下肺針生検、日本医学放射線学会雑誌 57 : 812-814, 1997
3. 関裕史、加村毅、三浦努、尾崎利郎、木村元政、酒井邦夫：肝動注治療中に留置カテーテル先端周囲に嚢胞形成を認めた後に出血を生じた2例、臨床放射線 42 : 491-494, 1997
4. 関裕史、木村元政、酒井邦夫：子宮癌の MRI、新潟医学会雑誌 111 : 12-23, 1997
5. 酒井邦夫、末山博男、伊藤猛、笹本龍太、杉田公、土田恵美子、他：切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌に対する Cisplatin 連日少量持続静注と放射線の同時併用療法、癌の臨床 43 : 519-522, 1997
6. 酒井邦夫：放射線治療の有用性を改めて考えるー社会的認知の方法論を含めて、新医療 12 : 54-56, 1997
7. 酒井邦夫、他：新しい放射線療法の有用性の評価、臨床放射線 42 : 1635-1636, 1997
8. 酒井邦夫：放射線治療と二次癌、メディカル朝日 3 : 26-29, 1997
9. 酒井邦夫：がん治療法の有用性評価、映像情報 29 : 301, 1997
10. 岡本浩一郎：頭部領域における画像診断の役割、新潟市医師会雑誌 320 : 2-6, 1997
11. 岡本浩一郎：画像でわかる脳腫瘍の性状、画像診断 17(12) : 1267-1276, 1997
12. 中田力、藤井幸彦、岡本浩一郎：磁気共鳴画像、臨床検査 41 : 1472-1476, 1997
13. 松月由子、古泉直也、斎藤友雄、木原好則、笹本龍太、山本哲史、酒井邦夫、小田純一、他：肺癌症例の切除肺における肺・胸膜病変を対象とした高分解能 CT-病理像の対比、臨床放射線 42 : 61-68, 1997
14. 加村毅、木村元政、酒井邦夫、酒井達也、他：慢性肝疾患における門脈血流低下のない粗大な肝細胞性腫瘍性病変の臨床経過、臨床放射線 42 : 1587-1592, 1997
15. 松本康男、酒井邦夫、西尾正道、他：非切除非小細胞肺癌に対する放射線単独治療群と化学療法併用群との比較検討ー多施設アンケート調査結果の解析、臨床放射線 42 : 1705-1710, 1997
16. 藤田勝三、大久保真樹、日向浩、酒井邦夫：FM3A 細胞における 5-FU+CCDP の放射線増感効果の細胞動態学的検討、新潟大学医療技術短期大学部紀要 6 : 229-232, 1997
17. 植松孝悦、斎藤眞理、酒井邦夫、末山博男、杉田公、他：Ⅲ期扁平上皮肺癌に対する加速過分割照射法の意義、臨床放射線 42(7) : 785-790, 1997
18. 木村元政：心臓画像診断の現状(医学コース：その28)、放射線医学物理 52 : 25-34, 1997.
19. 杉田公、伊藤猛、土田恵美子、末山博男、酒井邦夫、稲越英機、日向浩、益子典子：表在性ならびに浅在性腫瘍に対する温熱療法の経験、新潟医学会雑誌 111(5) : 284-288, 1997
20. 末山博男、杉田公、伊藤猛、植松孝悦、土田恵美子、松本康男、酒井邦夫、稲越英機：食道癌に対する温熱療法、新潟医学会雑誌 111(5) : 295-300, 1997
21. 新妻伸二、真保禎二、古泉直也、他：CT による早期肺癌の診断、映像情報 MEDICAL 29(12) : 729-734, 1997
22. 新妻伸二、真保禎二、古泉直也、他：肺癌 CT 検診 18 ヶ月の経験、胸部 CT 検診 4(2) : 108-112, 1997
23. 古泉直也：高分解能コンピュータ断層撮影での淡い陰影を呈する肺腺癌の鑑別、INNERVISION(12/8) : 52, 1997.

24. 小田野行男、大久保真樹、他：123I-IMP, 99mTc-ECD および 99mTc-HMPAO による脳血流 SPECT 画像の比較検討、核医学 34 : 189-194, 1997
25. 小田野行男、大久保真樹、他：99mTc-ECD SPECT における 2 分割投与方法(split-dose 法)の問題点と改良法、核医学 34 : 323-328, 1997
26. 小田野行男、大久保真樹、高橋誠、野口栄吉、大滝広雄、柴木充朗：99mTc-ECD SPECT を用いたマイクロスフェアモデルに基づく非侵襲的な脳血流測定—1 点動脈または静脈採血法—、核医学 34 : 1111-1117, 1997
27. 小田野行男、大久保真樹、高橋誠：123I-IMP, 99mTc-ECD および 99mTc-HMPAO による脳血流 SPECT 画像の比較検討、核医学 34 : 189-194, 1997
28. 笠原敏文、野口栄吉、大滝広雄、長沢弘、木村元政：99mTc-Tetrofosmin による負荷時心筋血流変化率測定—第一報—、新潟核医学懇話会誌 23 : 9-15, 1997.
29. 柏村健、高橋直也、前田春男、黒川茂樹、横山道夫、他：67Ga シンチグラフィが早期診断に有用であったカリニ肺炎の一例、新潟核医学懇話会記録集 23 : 29-32, 1997
30. 広野暁、小川祐輔、埴晴雄、相澤義房、木村元政、渡辺賢一：ステロイドパルス療法が奏功した遷延する活動性心筋炎の 1 例における 123I-MIBG シンチグラフィの経時的検討、新潟核医学懇話会誌 24 : 9-16, 1997.
31. 木原好則、湯川貴男、木村元政、酒井邦夫、他：肺性肥大型骨関節症の 2 例、新潟核医学懇話会誌 24 : 31-37, 1997.
32. 小川理、石黒淳司、岡部正明、石田均、木村元政：塞栓術前後の評価に肺血流シンチが有用であった多発性肺動静脈瘻の 1 例、新潟核医学懇話会誌 24 : 31-37, 1997.
33. 塚田博、佐藤敏輝、鈴木昌志、奥泉美奈、他：ステロイド依存性気管支喘息患者に発症した肺クリプトコッカス症の 1 例、臨床放射線 42 : 825-828, 1997
34. 塚田博、佐藤敏輝、高木聡、高野徹、他：Postanginal sepsis による pulmonary septic embolism の 1 例—治療経過 CT 所見を中心に—、臨床放射線 42 : 1717-1720, 1997
35. 塚田博、佐藤敏輝、鈴木昌志、奥泉美奈、他：多発斑状陰影にて発見された肺癌性リンパ管症の 1 例、日本胸部臨床 56 : 865-869, 1997
36. 水沢彰郎、伊藤猛、稲越英機、他：III B 期以上の進行性非小細胞性肺癌に対する化学放射線療法同時併用療法を中心とした集学的治療の検討、長岡赤十字病院医学雑誌 10(1) : 11-16, 1997
37. 植松孝悦、椎名真、小林晋一、他：ヘリカル CT による乳癌の乳管内進展と多発病巣の診断、日本医学放射線学会雑誌 57(3) : 85-88, 1997
38. 植松孝悦、椎名真、小林晋一、他：造影ヘリカル CT による乳癌の乳管内進展の診断 Time-density curve の解析、臨床放射線 42(2) : 291-294, 1997
39. 大久保真樹、小田野行男、野口栄吉、他：I-123 IMP SPECT による簡便な rCBF 定量測定法の臨床応用、映像情報 Medical 29(22) : 1330-1333, 1997
40. 藤田勝三、酒井邦夫、樋口正一、他：FM3A 細胞に対する 5-FU+CDDP の放射線増感効果細胞増殖と色素排除能による解析、新潟大学医療技術短期学部紀要 6(1) : 103-108, 1997

——1996——

1. 森田哲郎、樋口健史、酒井邦夫、古泉直也、梅津尚男、他：Aggressive angioyxoma の 1 例—MRI および CT 所見を中心として、臨床放射線 41 : 475-478, 1996
2. 古泉直也、松月由子、酒井邦夫、斎藤友雄、笹本龍太、山本哲史、木原好則、他：高分解能 CT による経過観察で消退傾向を示した限局性 ground-glass attenuation の検討、臨床放射線 41 : 513-520, 1996
3. 安住利恵子、湯川貴男、山本貴子、松月由子、酒井邦夫、他：先天性胆道閉鎖症における腹部エコー診断、臨床放射線 41 : 771-778, 1996
4. 古泉直也、酒井邦夫、松月由子、斎藤友雄、木原好則、他：高分解能 CT における肺腺癌の“淡い領域”の経時変化、日本医学放射線学会雑誌 56 : 715-719, 1996
5. 湯川貴男、佐藤洋子、酒井邦夫：嚢胞状リンパ節転移をきたした甲状腺癌の 3 例、臨床画像 12 : 122-126, 1996
6. 酒井邦夫：放射線腫瘍学の現状分析、映像情報 28 : 445-448, 1996
7. 末山博男、酒井邦夫、杉田公、伊藤猛、土田恵美子、他：巨大縦隔腫瘍を伴う早期 Hodgkin 病の治療、新潟医学会雑誌 110 : 63-71, 1996
8. 末山博男、酒井邦夫：食道癌における化学療法併用放射線療法、癌の臨床 42 : 33-38, 1996

9. 植松孝悦、酒井邦夫、末山博男、杉田公、伊藤猛、他：食道癌術後リンパ節再発に対する放射線治療成績の検討、臨床放射線 41：1079-1083, 1996
10. 平松慶博、酒井邦夫、椎名真、他：イオジキサールの静脈性尿路撮影における第Ⅱ相臨床試験、薬理と治療 24：S447-456, 1996
11. 宗近宏次、酒井邦夫、小田純一、他：非イオン性等浸透圧造影剤 DU-6807 (Iodixanol)の静脈性尿路造影における有用性の検討；イオヘキソールとの第Ⅲ相多施設二重盲検比較試験、診療と新薬 33：489-503, 1996
12. 稲邑清也、酒井邦夫、稲越英機：放射線腫瘍学広域データベースの構築、日本放射線腫瘍学会雑誌 8(2)：161-168, 1996
13. 藤田勝三、酒井邦夫、樋口正一、末山博男、大久保真樹：FM3A 細胞に対する 5-FU+CDDP の放射線増感効果；細胞増殖と色素排除能による解析、新潟大学医療技術短期大学部紀要 6：103-108, 1996
14. 藤田勝三、樋口正一、末山博男、酒井邦夫、大久保真樹：FM3A 細胞に対する 5-FU+CDDP の放射線増感効果、第 9 回関越 UFT 研究会講演集：21-24, 1996
15. 塚田博、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫：結節性肺結核の HRCT 所見、臨床放射線 41：97-102, 1996
16. 塚田博、佐藤敏輝、森田哲郎、原敬治、他：肺犬糸状虫症の 1 例－HRCT 画像所見を中心に－、臨床放射線 41：689-692, 1996
17. 塚田博、佐藤敏輝、森田哲郎、原敬治、他：縦隔および肺門リンパ節にサルコイド様反応を呈した肺癌の 1 例、臨床放射線 41：801-804, 1996
18. 阿部博史、熊谷孝、竹内茂和、田中隆一、岡本浩一郎、蘇牧：出血で発症し画像上海綿状血管腫が疑われた微小神経膠腫の一例、脳神経外科速報 6：849-854, 1996
19. 高橋直也、前田春男、黒川茂樹、横山道夫：ヘリカル CT を用いた三次元画像診断の臨床経験、新潟市民病院医誌 17：11-16, 1996
20. 白鳥共二、野沢慎吾、他：縦隔原発黄色線維腫の一症例、川崎医師会医学会誌 13：66-71, 1996
21. 小田野行男：核医学による腎機能検査－RI の現状と今後の展望－、腎と透析 40：463-471, 1996
22. 大久保真樹、小田野行男、他：I-123 IMP による脳機能定量法、映像情報 28：1079-1083, 1996
23. 大久保真樹、小田野行男、他：N-isopropyl-p-[123I]iodoamphetamine (123I-IMP) SPECT による局所脳血流および分布容積の新しい測定法、核医学 33：241-249, 1996
24. 斎藤友雄、他：腰椎椎間板ヘルニアの術前検査としての MRI、臨床整形外科 30：1395-1399, 1996
25. 林孝文、伊藤寿介、岡本浩一郎：これだけは知っておきたい単純 X 線診断歯及び顎骨、臨床画像 12(5)：514-520, 1996
26. 小田野行男、大久保真樹、他：Diamox 負荷脳血流 SPECT における 123I-IMP を用いた簡便な脳血流測定法の比較－マイクロスフェア法と Table look-up 法－、第 11 回 Brain Function Imaging Conference 記録集：49-52, 1996
27. 高野徹、木村元政、加村毅、樋口健史、酒井邦夫、他：RI venography, lymphography における whole body scan の有用性、新潟核医学懇話会誌 21：23-28, 1996.
28. 石黒淳司、岡部正明、石田均、山本功、木村元政：不安定性狭心症における安静時 123I-BMIPP 心筋シンチグラムの遅延像の意義、新潟核医学懇話会誌 21：51-54, 1996.
29. 木村元政、高野徹、酒井邦夫、笠原敏文、野口栄吉、他：99mTc 心筋製剤の使用経験；日常ルチーン検査導入への工夫、新潟核医学懇話会誌 21：55-60, 1996.
30. 石黒淳司、岡部正明、石田均、山本功、木村元政、他：PTCA 効果判定における術後早期 T1 負荷心筋シンチの検討、新潟核医学懇話会誌 22：31-34, 1996.
31. 湯川貴男、樋口健史、佐藤洋子、近藤まり子、酒井邦夫：超音波による小児正常甲状腺の計測、臨床放射線 41(2)：229-232, 1996
32. 吉村宣彦、他：三次元 CT 血管造影法による大動脈及び分枝疾患の診断大動脈瘤電子ビーム CT による診断、臨床画像 12(6)：646-651, 1996
33. 吉村宣彦、他：大動脈瘤の 3D-CT アンギオグラフィ電子ビーム CT とヘリカル CT との比較を中心に、INNERVISION11(5)：56-59, 1996
34. 小田野行男：SPECT からみた神経疾患、BIO Clinical1(4)：256-259, 1996
35. 小田野行男、大久保真樹、高橋誠、他：123I-IMP の分布容積を用いた SPECT による脳機能診断、核医学 33(6)：579-586, 1996
36. 小田野行男：各種の SPECT 用放射性薬剤による脳血流測定法 123I-IMP による定量的な脳血流測定法マイクロスフェア法とその他の方法、INNERVISION11(10)：58-63, 1996
37. 末山博男、他：縦隔腫瘤を伴うホジキン病病期Ⅱの放射線治療、日本癌治療学会誌 31(3)：218-227, 1996

38. 大久保真樹、小田野行男、高橋誠、他：N-isopropyl-p-[123I]iodoamphetamine(123I-IMP)SPECTによる局所脳血流の定量測定法の比較・検討、核医学 33(6)：647-654, 1996

----1995----

1. 古澤哲哉、岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、酒井邦夫、他：側頭骨錐体尖部に発生した脊索腫の1例、臨床放射線 40：609-612, 1995
2. 古澤哲哉、岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、植松孝悦、酒井邦夫、他：天幕および天幕下に認められた血管芽細胞腫の1例、臨床放射線 40：941-944, 1995
3. 樋口健史、小田野行男、高橋直也、酒井邦夫：99mTc-HMPAO SPECTにおける2回静注法の基礎的検討と負荷試験への応用、核医学 32：235-240, 1995
4. 平松慶博、酒井邦夫、加村毅、他：造影CTにおけるイオメロンのシリンジ製剤の使用経験、Prog. Med. 15：340-348, 1995
5. 高橋直也、小田野行男、杉田公、佐藤洋子、酒井邦夫：分化型甲状腺癌転移の検出における123I全身スキャンの意義、臨床放射線 40：229-233, 1995
6. 近藤まり子、椎名真、捧彰、斎藤明、酒井邦夫：脾病変のCT、臨床放射線 40：443-450, 1995
7. 山本貴子、塚田博、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫：5mm slice bolus CT scanにおける正常縦隔・肺門リンパ節の検討、臨床放射線 40：841-846, 1995
8. 古泉直也、酒井邦夫、小田純一、塚田博、松月由子、木原好則、秋田眞一、他：肺腺癌における高分解能CTと病理組織像の対比、臨床放射線 40：785-793, 1995
9. 塚田博、吉村彦彦、山本貴子、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫：ニューモシスチス・カリニ肺炎のHRCT所見、日本医学放射線学会雑誌 55：364-374, 1995
10. 河野通雄、酒井邦夫：胸部疾患におけるCTの役割—らせんCTと高分解能CTを中心に、臨床放射線 40：763-765, 1995
11. 湯川貴男、樋口健史、樋口正一、酒井邦夫：結節型筋サルコイドーシスの一例、臨床放射線 40：1633-1635, 1995
12. 湯川貴男、秋田眞一、小田純一、塚田博、酒井邦夫、古泉直也、他：先天性気管支閉鎖症の1手術例、臨床放射線 40：1165-1168, 1995
13. 酒井邦夫、末山博男、小田純一：小細胞癌に対する放射線療法；多分割照射法を含む、癌の臨床 41：1425-1431, 1995
14. 酒井邦夫、木村元政、大久保真樹、大越幸和：胸部大動脈瘤診断におけるMRIの臨床的有用性、文部省科学研究費総合研究；MR血管造影の診断精度の向上に関する基礎的研究(研究代表者：高橋睦正)最終報告書：43-49, 1995
15. 酒井邦夫：放射線生物学の発展とがん治療への応用—X線発見100周年を迎えて、癌の臨床 41：1665-1666, 1995
16. 藤田勝三、大久保真樹、酒井邦夫、樋口正一、末山博男、日向浩：5-FUおよびCDDPのFM3A細胞の細胞回転に及ぼす影響、新潟大学医療技術短期大学部紀要 5：256-263, 1995
17. 藤田勝三、大久保真樹、酒井邦夫、樋口正一、末山博男、日向浩：FM3A細胞に対する5-FU、CDDPおよび放射線の併用効果に関する研究、第8回関越UFT研究会講演集：9-14, 1995
18. 安保徹、中山マウロ：癌と免疫と放射線、癌の臨床 41：1709-1716, 1995
19. 加村毅、木村元政、西原眞美子、佐藤洋子、近藤まり子、関裕史、樋口健史、安住利恵子、湯川貴男、三浦努、酒井邦夫、塚田一博、味岡洋一、東雲正剛：肝未分化(間葉性)肉腫の1例、腹部画像診断アトラスⅡ(腹部放射線研究会編)：54-55, 1995
20. 飯塚純、犬塚貴、岡本浩一郎、石黒英明、辻省次：難治性吃逆を主訴とした多発性硬化症、神経内科 42：273-275, 1995
21. 松下健、岡本浩一郎、他：塞栓療法を行った血管腫の2例術前血管造影所見と塞栓療法の効果の関連について、日本口腔外科学会雑誌 44(3)：491-495, 1995
22. 古泉直也：肺腺癌の高分解能CTによる診断—病理組織像との対比—、新潟医学会誌 109：320-324, 1995
23. 三浦努、石井卓、木村元政：大腿骨頸部骨折に対する骨シンチグラムの意義、新潟核医学懇話会誌 19：33-36, 1995
24. 野口栄吉、笠原敏文、大滝広雄、羽田野政義、木村元政、他4名：心筋SPECTで発生するアーティファクトのファントムによる検討、新潟核医学懇話会誌 19：37-41, 1995
25. 石黒淳司、岡部正明、石田均、金子潔、山本功、木村元政：不安定狭心症における安静時201Tl心筋シンチグラムの有用性、新潟核医学懇話会誌 19：53-57, 1995

26. 小田純一：肺癌検診における新しい画像診断法、新潟医学会雑誌 109(7)：316-319, 1995
27. 高橋誠、小田野行男、高橋直也、他：123I-IMP SPECT で脳血流低下を認めた非 24 時間睡眠覚醒リズム症候群の 1 例、精神医学 37(9)：985-987, 1995
28. 小田野行男：CT, MRI 時代の核医学脳 SPECT 各種トレーサーの特徴と臨床的意義、画像診断 15(7)：711-722, 1995
29. 小田野行男、他：SPECT による脳の新しい画像診断法の研究[123I]-Iomazenil による中枢性ベンゾジアゼピン受容体イメージング、新潟医学会雑誌 109(1)：1-7, 1995
30. 大久保真樹、小田野行男、高橋直也、他：123I-IMP SPECT を用いた microsphere model に基づく局所脳血流量測定法(簡便法)の精度の検討、核医学 32(12)：1323-1331, 1995
31. 酒井邦夫、末山博男：放射線治療概論 放射線治療後の晩期障害とその対策、癌の臨床(別冊癌放射線療法)：407-418, 1995

---1994---

1. 小田純一、秋田眞一、酒井邦夫、塚田博、古泉直也、安住利恵子、吉村宣彦、山本貴子：FCR 胸部単純写真では所見がわかりにくい肺野型肺癌症例の検討、臨床放射線 39：173-179, 1994
2. 塚田博、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫、他：多発性筋炎および皮膚筋炎に合併した間質性肺炎における HRCT 所見の経時的変化、臨床放射線 39：145-150, 1994
3. 土田恵美子、酒井邦夫、椎名真、他：癌の病期診断；画像からのアプローチ-食道癌、画像診断 14：160-169, 1994
4. 宗近宏次、酒井邦夫、椎名真、他：排泄性尿路造影における SH/TA-414 の臨床評価-150mgI/ml、240mgI/ml、300mgI/ml および 370mgI/ml 濃度についての検討、Prog. Med. 14(suppl. 1)：323-342, 1994
5. 加村毅、木村元政、酒井邦夫、武田敬子、他：MRI 用造影剤 AMI-25 (superparamagnetic iron oxide)の第Ⅲ相一般臨床試験-肝腫瘍性病変における有効性、安全性および臨床的有用性の検討、腹部画像診断 14：356-371, 1994
6. 高橋直也、大久保真樹、小田野行男、大滝広雄、酒井邦夫、他：Microsphere model を用いた N-isopropyl-p-[123I] iodoamphetamine (IMP) SPECT による局所脳血流量定量法の問題点-133Xe SPECT および 123I-IMP SPECT との比較検討、核医学 31：319-326, 1994
7. 加村毅、木村元政、酒井邦夫：当科における interventional radiology の現状、新潟医学会雑誌 108：115-124, 1994
8. 酒井邦夫、末山博男、小田純一、樋口正一、土田恵美子、杉田公、松本康男、藤田勝三、大久保真樹、稲越英機：5-FU 少量持続静注と放射線の同時併用療法に関する基礎的、臨床的研究、INNERVISION 9(7)：19-20, 1994
9. 渡辺浩之、大久保真樹、酒井邦夫、他：1H-magnetic resonance spectroscopy にて脳局所での乳酸の上昇を認めた片頭痛、臨床神経 34：504-507, 1994
10. 松本康男、末山博男、酒井邦夫、杉田公、土田恵美子、他：放射線治療による非切除非小細胞肺癌の 5 年生存 12 例の検討、癌の臨床 40：1101-1105, 1994
11. 佐藤洋子、西原眞美子、近藤まり子、笹本龍太、森田哲郎、山本哲史、木村元政、高橋直也、酒井邦夫、他：耳下腺部好酸球形肉芽腫(木村氏病)の CT および MRI 所見、臨床放射線 39：953-959, 1994
12. 塚田博、木原好則、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫、他：右反回神経麻痺をきたしたと考えられる先天性気管支憩室の 1 例、臨床放射線 39：627-632, 1994
13. 桑野浩彦、木村元政、酒井邦夫、他：201TlCl・99mTc-PYP dual SPECT にて右室梗塞と診断された症例の臨床的検討、核医学 30：1185-1191, 1994
14. 古泉直也、秋田眞一、酒井邦夫、吉村宣彦、塚田博、小田純一、他：末梢型肺腺癌における thin-section CT 上の“vanishing radiation”、臨床放射線 39：1063-1066, 1994
15. 末山博男、酒井邦夫、土田恵美子、伊藤猛、杉田公、他：進行食道癌に対する 5-fluorouracil 少量持続静注および cisplatin 静注と放射線の同時併用療法の試み、癌と化学療法 21：2839-2841, 1994
16. 古泉直也：肺腺癌における thin-section CT 像と病理組織像の対比 第一編 腫瘍分化度、発育形式、および間質の変化について、肺癌 34(2)：199-207, 1994

17. 古泉直也、薄田宏幸：肺腺癌における thin-section CT 像と病理組織像の対比第二編；基底膜における TypeIVcollagen および Laminin の局在について、肺癌 34(3)：321-331, 1994
18. 斎藤眞理、樋口健史、松本康男、他：肺癌(特に内視鏡的肺門早期肺癌)に対する気管支腔内照射併用の放射線治療、日本癌治療学会誌 29:43-53, 1994
19. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、吉村宣彦、他：Gd-DTPA 投与後の MR 画像が、鑑別診断上有用であった脳幹部神経膠腫の 1 例、臨床放射線 39：613-616, 1994
20. 将積浩子、横山道夫、他：産婦人科領域の MRI、新潟医学会誌 108：406-410, 1994
21. 末山博男、他：局所進行子宮頸癌に対する照射前動注化学療法の評価、臨床放射線 39：691-698, 1994
22. 岡本浩一郎、伊藤寿介、吉村宣彦、登木口進、他：松果体部海綿状血管腫の 1 例、臨床放射線 39：737-740, 1994
23. 岡本浩一郎、伊藤寿介、川崎俊彦、登木口進、古澤哲哉、吉村宣彦：白内障の X 線 CT 所見。臨床放射線 39：775-780, 1994
24. 大久保真樹、小田野行男、高橋直也、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、酒井邦夫：123-I-IMP SPECT による rCBF 測定法における洗い出し(k2)の影響、新潟核医学懇話会誌 17：33-39, 1994
25. 樋口健史、高橋直也、小田野行男、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義：99mTc-HMPAO 2 回静注法の基礎的検討と負荷試験への応用、新潟核医学懇話会誌 17：45-49, 1994
26. 石黒淳司、岡部正明、石田均、小林誠司、金子潔、木村元政：SIM-400 の使用経験；first pass 法と左室造影の比較、新潟核医学懇話会誌 18：33-37, 1994.
27. 桑野浩彦、木村元政、高橋直也、小田野幾雄、酒井邦夫、他：肥大型心筋症における 123I-BMIPP 心筋シンチグラム所見とその経時的変化について、新潟核医学懇話会誌 18：39-43, 1994.
28. 西原眞美子、伊藤寿介、岡本浩一郎、登木口進、武田敬子：傍軟部における非特異性炎症性病変の MRI 所見の検討、CI 研究 16：5-13, 1994
29. 土田恵美子：食道癌の放射線治療における局所制御を左右する因子の解析、日放腫会誌 6：225-233, 1994
30. 小田野行男：脳核医学検査の最新動向、新医療 3：51-55, 1994
31. 小田野行男：SPECT による脳血流測定と病態の解析、神経研究の進歩 38：247-255, 1994
32. 小田野行男：脳腫瘍の診断における SPECT 核医学、Modern Physician 14：867- 870, 1994
33. 小田野行男：[123-I]-iomazenil (Ro 16-0154) を用いたベンゾジアゼピン受容体イメージングによる神経細胞の生存能 viability の評価、Innervision 9：63, 1994
34. 小田野行男：123-I-IMP による簡便で非侵襲的な定量脳血流測定法、臨床核医学 27：90-92, 1994
35. 小田野行男、高橋直也、大久保真樹、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、山崎芳裕、西原眞美子：N-isopropyl-p[123-I]iodoamphetamine (IMP) と回転型ガンマカメラを用いた microsphere model に基づく脳血流測定法の精度の検討-PaCO<sub>2</sub> による補正の必要性-、核医学 31：223-229, 1994
36. 高橋克明、小田野行男、高橋直也、他：てんかんをもつ小児にみられた両側小脳半球と両側前頭葉の血流低下、脳と発達 26：439-441, 1994
37. 高橋克明、小田野行男、高橋直也、他：小児局在関連性てんかんにおける 123-I-IMP SPECT-初期像と後期像の比較検討-、てんかん研究 12：205-212, 1994
38. 長谷川伸、小田野行男、大滝広雄：131-I β 2-microglobulin を用いたシンチスキャニングによる透析アミロイド骨関節症の検討、腎と骨代謝 7：381-389, 1994
39. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進：神経疾患の画像診断；血管性白質病変、Medicina 31：1690-1692, 1994
40. 末山博男、酒井邦夫、関裕史、杉田公、土田恵美子、伊藤猛、松本康男、中野政雄：局所進行子宮頸癌に対する放射線治療と動注化学療法の併用療法、新潟医学会誌 108：787-797, 1994
41. 酒井邦夫：放射線診療の中央化に関する諸問題、放射線治療部門、日本病院会誌 41：1451-1457, 1994
42. 小田野行男、大久保直樹、高橋直也、他：動脈一点採血による N-isopropyl-p- [123I] iodoamphetamine と SPECT を用いた簡便な脳血流測定法 One-point sampling 法、核医学 31(10)：1219-1226, 1994
43. 石黒淳司、木村元政：画像診断の最近の進歩と問題点 放射性医薬品と SPECT 心臓核医学の最近の進歩、新潟医学会雑誌 108(6)：417-427, 1994

1. 小田野行男、高橋直也、西原眞美子、大久保真樹、酒井邦夫、他：123I-IMP 脳血流シンチにおける crossed cerebellar diaschisis (CCD) の発現と再分布現象に関する研究、核医学 30 : 189-196, 1993
2. 椎名真、酒井邦夫：静脈性尿路造影における非イオン性ヨード造影剤 Iomeperol (E7337) の使用経験、Prog. Med. 13 (suppl. 1) : 281-289, 1993
3. 松月由子、高橋直也、西原眞美子、木村元政、小田野行男、酒井邦夫：99mTc-MDP 骨シンチグラフィにおける骨外集積の検討、臨床放射線 38 : 351-358, 1993
4. 稲越英機、井上富夫、関谷昌四、日向浩、酒井邦夫、他：食道癌高線量率腔内照射用の新しい二重バルーンアプリーケータと新しい照射計画プログラム、臨床放射線 38 : 565-569, 1993
5. 川崎俊彦、木村元政、樋口健史、加村毅、酒井邦夫：MRI にて偶然発見された左腕頭静脈走行異常の 2 例、臨床放射線 38 : 589-592, 1993
6. 桑原武夫、大久保真樹、伊藤猛、酒井邦夫、他：光刺激で誘発される大脳後頭葉視覚野における乳酸の変化—1H-MRS によるミトコンドリア脳筋症 2 例の観察、医学のあゆみ 165 : 491-492, 1993
7. 小田野行男、高橋直也、古澤哲哉、酒井邦夫、他：125I-Iomazenil (Ro 16-0154) と in vivo Autoradiography によるベンゾジアゼピン受容体イメージングの研究、核医学 30 : 761-767, 1993
8. 渡辺浩之、大久保真樹、酒井邦夫、他：MRI による脳神経活動の画像化—MR functional brain imaging、脳神経 45 : 941-944, 1993
9. 将積浩子、前田春男、黒川茂樹、横山道夫、三浦恵子、西原眞美子、酒井邦夫、他：産科領域における MRI の有用性、臨床放射線 38 : 1535-1542, 1993
10. 高橋睦正、酒井邦夫、伊藤寿介、岡本浩一郎、他：脳血管撮影における非イオン性造影剤 Ioxilan (IOX) の臨床評価—Iohexol との第Ⅲ相多施設比較試験、臨床医薬 9 : 1807-1827, 1993
11. 高橋睦正、酒井邦夫、岡本浩一郎、他：脳血管撮影における非イオン性造影剤 Ioxilan (IOX) の臨床評価、臨床医薬 9 (suppl. 5) : 129-140, 1993
12. 吉田哲雄、酒井邦夫、木村元政、他：末梢四肢血管造影における非イオン性造影剤 Ioxilan (IOX) の臨床評価—多施設臨床試験、臨床医薬 9 (suppl. 5) : 129-140, 1993
13. 片山仁、酒井邦夫、椎名真、他：非イオン性造影剤 Ioxilan (IOX) の静脈性尿路造影における臨床評価—Iohexol との第Ⅲ相比較試験、映像情報 25 : 1129-1147, 1993
14. 塚田博、古泉直也、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫、他：肺胞蛋白症の X 線 CT 所見—胸部単純 X 線写真および病理所見との対比—、臨床放射線 38 : 125-130, 1993
15. 古澤哲哉、岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、斎藤友雄、西原眞美子、酒井邦夫：嚢胞性転移性脳腫瘍の画像所見、臨床放射線 38 : 875-880, 1993
16. 高橋直也、西原眞美子、小田野行男、酒井邦夫、他：Joseph 病の N-isopropyl-p-[123I] iodoamphetamine (IMP) SPECT による診断、CI 研究 15 : 159-164, 1993
17. 酒井邦夫：放射線科学をどのように教えるか；放射線腫瘍学の立場から、医学教育 24 : 400-402, 1993
18. 安住利恵子、三浦努、清野泰之、他：MRI による子宮体癌の臨床進行期診断、臨床放射線 38 : 1529-1534, 1993
19. 林 浩子、前田春男、黒川茂樹、横山道夫、他：出生前診断に MRI が有効であった 2 例、臨床放射線 38 : 419-422, 1993
20. 羽田野政義、野口栄吉、山崎芳裕、大滝広雄、星野典子、長沢弘、小田野行男、木村元政、高橋直也、酒井邦夫：133-Xe ガス吸入法における画像処理の検討、新潟核医学懇話会誌 16 : 7-9, 1993
21. 野口栄吉、羽田野政義、山崎芳裕、大滝広雄、星野典子、長沢弘、小田野行男、木村元政、高橋直也、酒井邦夫：99mTc-HM-PAO 定量化における Lassen 補正式の検討、新潟核医学懇話会誌 16 : 11-15, 1993
22. 大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、山崎芳裕、星野典子、長沢弘、小田野行男、木村元政、高橋直也、酒井邦夫：ファントムの形状によるクロスキャリブレーションファクタへの影響、新潟核医学懇話会誌 16 : 17-21, 1993
23. 西原眞美子、小田野行男、高橋直也、酒井邦夫、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、他：難治性てんかんの脳血流 SPECT の検討、新潟核医学懇話会誌 16 : 29-34, 1993

24. 小田野行男、高橋直也、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、山崎芳裕、西原真美子、大久保真樹：N-isopropyl-p-[123-I] iodoamphetamine (IMP) SPECTにおける分配定数 (Distribution volume)を算定する Magic Square 法の理論、新潟核医学懇話会誌 16 : 35-39, 1993
25. 木原好則、高橋直也、小田野行男、酒井邦夫：アドステロール副腎シンチグラフィによる副腎腫瘍性病変の検討、新潟核医学懇話会誌 16 : 55-59, 1993
26. 斎藤友雄、小田野行男、高橋直也、酒井邦夫、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、他：小児肝疾患における 99mTc-GSA 肝シンチグラフィの有用性、新潟核医学懇話会誌 16 : 61-65, 1993
27. 小田野行男、大久保真樹、高橋直也、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、山崎芳裕、西原真美子、他：N-isopropyl-p-[123-I]iodoamphetamine (IMP)の分配定数(Distribution volume)と SPECT を用いた新しい診断—Magic Square 法の開発—、核医学 30 : 1211-1219, 1993
28. 下条文武、小田野行男、他：アイソトープ標識  $\beta$  2-MG による透析アミロイドーシスの画像診断、日本透析療法学会誌 26 : 109-111, 1993
29. 秋田眞一：スパイラル CT について(質疑)、新潟県医師会報 524 : 59, 1993
30. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、古澤哲哉、斎藤友雄：後部強膜炎の X 線 CT 所見、臨床放射線 38 : 709-712, 1993
31. 阿部博史、岡本浩一郎、他：後頭蓋窩動脈奇形に対する塞栓術、第 8 回日本脳神経血管内手術法研究会講演集 : 149-152, 1993
32. 佐藤洋子：副甲状腺機能亢進症の MRI による局在診断、日本磁気共鳴医学会誌 13 : 409-418, 1993
33. 塚田博：I 期非小細胞肺癌放射線治療例における予後因子の解析、日本放射線腫瘍学会誌 5 : 173-180, 1993
34. 関裕史、樋口正一、畠山重秋、高木健太郎、長谷川正樹、真部一彦：動注リザーバーからの肝 CT arteriography の有用性、臨床放射線 38 : 545-550, 1993
35. 木村元政：経静脈性デジタルサブトラクション血管撮影法の臨床利用、新潟県放射線技師会会報 44 : 5-12, 1993
36. 木村元政：米国心臓核医学の動向、ニュータウンカンファレンス記録集 17 : 61-66, 1993
37. 小田野行男：脳の核医学の最近の進歩、群馬県核医学研究会会誌 7(2) : 129-133, 1993
38. 小田野行男、大久保真樹、高橋直也、他：Magic Square 法を用いて N-isopropyl-p-[123I] iodoamphetamine の分配定数(Distribution volume)を算定する新しい診断法、パーヒューザミン研究会記録集 9 : 53-56, 1993
39. 杉田公：放射線治療の一里塚 乳癌術後照射法の完成、新医療 20(1) : 114-119, 1993

——1992——

1. 関裕史、塩谷淳、他：クッシング病を伴った副腎骨髄脂肪腫の 1 例、臨床放射線 37 : 629-632, 1992
2. 住江寛俊、酒井邦夫、他：脳血管造影における Iomeprol (E7337)と Iopamidol との比較試験、映像情報 24 : 850-868, 1992
3. 西尾正道、酒井邦夫、他：食道癌 M0 症例の放射線治療成績の全国集計、日本癌治療学会雑誌 27 : 912-924, 1992
4. 秋田眞一、小田純一、古泉直也、塚田博、椎名真、酒井邦夫：瘢痕形成を伴わない小型肺腺癌の 1 例、断層映像研究会雑誌 19 : 35-36, 1992
5. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、桑原悟郎、西原真美子：偶然発見された側脳室内腫瘍、断層研究会誌 19 : 23-24, 1992
6. 中村拓、林浩子、他：プロモクリプチン療法中髄液鼻漏と髄液耳漏を合併したプロラクチノーマの 1 治療例、脳神経外科 20 : 1091-1095, 1992
7. 藤田勝三、大久保真樹、樋口健史、樋口正一、日向浩、酒井邦夫：FM3A 細胞に対する温熱併用 2 分割照射の細胞致死効果、新潟大学医療技術短期大学部紀要 4 : 285-288, 1992
8. 塚田博、秋田眞一、小田純一、酒井邦夫、他：薄壁空洞を呈した細気管支肺胞上皮癌の 1 例、日本胸部臨床 51 : 311-318, 1992
9. 小田野行男：脳の SPECT および Receptor Mapping の理論と実際、福岡 RI カンファレンス記録集 12 : 19-26, 1992
10. 椎名真：腹痛の画像診断、新潟県医師会報 251 : 2-6, 1992
11. 小田野行男：新潟の未来と PET センター、新潟県医師会報 503 : 9-14, 1992
12. 木村元政：循環器疾患、患の MRI—現時点における臨床的役割、新潟医師会報 509 : 1-13, 1992
13. 小田野行男：N-isopropyl-p-[123I] iodoamphetamine (IMP) SPECT における delayed filling in phenomenon (いわゆる再分布現象)の意義、新潟医学会雑誌 106 : 243-247, 1992
14. 小田野行男：脳の神経伝達物質受容体のイメージング—PET と SPECT における理論と実際、臨床放射線 37 : 533-543, 1992
15. 小田野行男：核医学 up to date 精神科脳変性疾患の核医学診断 ; 123I-IMP による病態の描出—、INNERVISION8 : 56-61, 1992.

16. 武田正之、片山靖士、木村元政、小田野行男、他：褐色細胞腫の MRI-CT、123I-MIBG 尿中カテコールアミン値、手術所見との比較一、日泌尿会誌 83 : 33-39, 1992
17. 椎名真、武田敬子、酒井邦夫：妊婦にみられた膵嚢胞腺癌の 1 例、断層研究会誌 19 : 51-52, 1992
18. 成松芳明、酒井邦夫、椎名真：静脈性尿路撮影における非イオン性ヨード造影剤 Iotrolan 280 mgI/ml の使用経験、薬理と治療 20 : 5083-5091, 1992
19. 山崎芳裕、大滝広雄、野口栄吉、木村元政、山本貴子、高橋直也、小田野行男、酒井邦夫：ルーチン検査における心容積算出方法としての心電図非同期心プール SPECT の有用性と問題点、新潟核医学懇話会誌 14 : 12-14, 1992
20. 野口栄吉、大滝広雄、山崎芳裕、木村元政、松月由子、高橋直也、小田野行男、酒井邦夫：女性乳房が心筋 SPECT に与える影響について—ファントムによる検討—、新潟核医学懇話会誌 14 : 15-17, 1992
21. 大滝広雄、野口栄吉、山崎芳裕、小田野行男、高橋直也、吉村宣彦、木村元政、酒井邦夫：リング型 SPECT 装置 SET-050 による rCBF の測定 (133-Xe ガス吸入法)、新潟核医学懇話会誌 14 : 18-21, 1992
22. 小田野行男、高橋直也、吉村宣彦、木村元政、酒井邦夫、大滝広雄、野口栄吉、山崎芳裕、星野典子：リング型 SPECT による rCBF の測定—133-Xe と 123-I-IMP の臨床的検討—、新潟核医学懇話会誌 14 : 22-24, 1992
23. 吉村宣彦、小田野行男、高橋直也、木村元政、酒井邦夫、大滝広雄、野口栄吉、山崎芳裕、他：一過性全生活史健忘の 123-I-IMP SPECT、新潟核医学懇話会誌 14 : 25-27, 1992
24. 古澤哲哉、川崎俊彦、清野泰之、他：Plummer 病の 3 症例、新潟核医学懇話会誌 14 : 46-50, 1992
25. 藤田基、他：精神分裂病の 123-I-IMP SPECT 所見(第一報)；特に線条体の高血流について、新潟核医学懇話会誌 15 : 23-27, 1992
26. 野口栄吉、大滝広雄、山崎芳裕、羽田野政義、長沢弘、小田野行男、高橋直也、酒井邦夫：女性乳房が心筋 SPECT に与える影響について(第 2 報)；ファントムによる検討、新潟核医学懇話会誌 15 : 28-30, 1992
27. 山崎芳裕、大滝広雄、野口栄吉、羽田野政義、小田野行男、高橋直也、酒井邦夫：新しい心筋シンチグラム製剤 PPN-1011 の基礎的検討、新潟核医学懇話会誌 15 : 31-34, 1992
28. 高橋直也、小田野行男、佐藤洋子、木村元政、酒井邦夫：甲状腺癌に対する 131-I 内照射前の 123-I 全身スキャンの意義、新潟核医学懇話会誌 15 : 43-48, 1992
29. 木村元政、木原好則、加村毅、高橋直也、小田野行男、酒井邦夫、武田正之、野口栄吉、羽田野政義、大滝広雄、他：Percutaneous transluminal renal angioplasty (PTR) 効果判定における DMSA 腎シンチグラムの検討、新潟核医学懇話会誌 15 : 49-53, 1992
30. 筒井寿基、羽田野政義、小田野行男、木村元政、他：神経因性ぼうこう患者に対する water filling cystometry と diuresis renography の同時測定、新潟核医学懇話会誌 15 : 54-57, 1992
31. 福島祥紘、岡本浩一郎、他：臨床病理検討会レポート、新潟歯学会誌 22 : 141-147, 1992
32. 林浩子、前田春男、黒川茂樹、横山道夫、梅津尚男、他：妊婦の MRI —産科領域および他領域への応用—、新潟市民病院医誌 13 : 33-40, 1992
33. 朱紅、新妻伸二、小林晋一、清水克英、須藤宣弘、西原眞美子、佐藤玲子、佐藤洋子、古泉直也、近藤まり子、関裕史、三浦恵子、樋口健史：人間ドックにおける超音波検査について、県立がんセンター新潟病院医誌 31 : 29-34, 1992

—1991—

1. 小田野行男、大沢義弘、酒井邦夫、他：123I meta-iodobenzylguanidine (123I-MIBG)による神経芽細胞腫の診断、小児科診療 54 : 161-167, 1991
2. 酒井邦夫：X線 CTによる患者被曝(質疑)、新潟県医師会報 No. 490 : 79, 1991.
3. 酒井邦夫：多重癌の臨床—放射線治療の立場から—、新潟市医師会報 No. 239 : 2-5, 1991
4. 酒井邦夫：放射線被曝と妊娠中絶の基準(質疑)、臨床婦人科産科 45 : 1011, 1991
5. 木村元政、石黒淳司、西原眞美子、酒井邦夫、他：完全左脚ブロックの 201Tl 負荷親近 SPECT 像の検討、ニュータウンカンファレンス記録集 15 : 111-114, 1991
6. 武田正之、片桐明善、木村元政、小田野行男、他：悪性褐色細胞腫に対する CVD 療法と選択的動脈塞栓療法による治療、日泌尿会誌 82 : 826-829, 1991

7. 武田正之、片山靖士、小田野行男、他：2光子吸収法を用いた尿路結石症、患者の骨塩定量－突発性高カルシウム尿症鑑別の可能性について一、日泌尿会誌 82：1954-1958, 1991
8. 小林晋一、新妻伸二、清水克英、小田野行男、須藤宣弘、西原眞美子、佐藤玲子、佐藤洋子、古泉直也、近藤まり子、他：1cm以下の早期胃癌のX線学的検討、臨床放射線 36：883-891, 1991
9. 木村元政、酒井邦夫：心・大血管のMRI、画像診断 10(suppl.)：207-216, 1991
10. 古泉直也、小田純一、酒井邦夫、塚田博、他：Thin-slice CTにおける孤立性陰影に伴う“淡い領域”の診断的意義、画像診断 11：591-597, 1991
11. 藤田勝三、大久保真樹、樋口健史、樋口正一、日向浩、酒井邦夫：温熱・放射線併用療法の細胞回転に及ぼす影響、新潟大学医療技術短期大学部紀要 4：201-205, 1991
12. 林浩子、土田恵美子、岡本浩一郎、伊藤寿介、他：頭蓋底を破壊し頭蓋外に進展した巨大下垂体腺腫の1例、臨床放射線 36：383-386, 1991
13. 秋田眞一：びまん性間質性肺病変におけるFCRライフサイズ像の臨床評価、日本医放会誌 51：1306-1313, 1991.
14. 土田恵美子、安住利恵子、伊東一志、稲越英機、酒井邦夫、他：I・II期Hodgkin病の放射線治療成績、癌の臨床 37：1492-1496, 1991
15. 山本朋彦、木村元政、他：心プールシンチと間接的血压測定法より求めた最大収縮血压－収縮末期容積関係の検討一、新潟核医学懇話会記録集 13：1991
16. 小田野行男、高橋直也、西原眞美子、木村元政、酒井邦夫、大滝広雄、野口栄吉、山崎芳裕、星野典子：123I-IMP SPECTによるCrossedCerebellarDiaschisis (CCD)の描出と再分布現象の意義、新潟核医学懇話会記録集 13：31-35, 1991
17. 高橋直也、小田野行男、西原眞美子、酒井邦夫、他：2年の経過で悪性の所見を呈した甲状腺腫の画像診断、新潟核医学懇話会誌 13：51-56, 1991
18. 大滝広雄、野口栄吉、山崎芳裕、羽田野政義、長沢弘、小田野行男、高橋直也、木村元政、高橋直也、酒井邦夫：脳血流量に影響を及ぼす因子－画像処理法の検討一、新潟核医学懇話会誌 13：16-18, 1991
19. 加村毅、他：広範な偽腺管構造を認めた肝細胞癌の1例；超音波・MRIを中心に、腹部画像診断 11(12)：1009-1012, 1991
20. 塚田裕子、栗田雄三、横山晶、木滑孝一、古泉直也：肺野末梢部肺癌におけるthin section CTの有用性の検討－conventional tomographyとの比較一、日本胸部臨床 50：715-722, 1991
21. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進、他：受傷後1年以上経過してから発症した眼窩気腫、眼窩結合織炎を伴った一側性眼球突出の1例、CT研究 13(2)：211-214, 1991
22. 小田純一：新潟大学医学部附属病院における医用画像管理の現状と将来展望、映像情報Medical 23(13)：723-729, 1991
23. 西原眞美子、高橋直也、小田野幾雄、他：Alzheimer型痴呆の123I-IMP SPECTの検討、パービューザミン研究会記録集 7：11-14, 1991
24. 登木口進：硬膜静脈洞内脂肪に関する研究、日本医学放射線学会雑誌 51(8)：871-882, 1991
25. 登木口進、岡本浩一郎、伊藤寿介、他：頭頂正中硬膜外血腫のCT診断、神経内科 35(2)：199-200, 1991

——1990——

1. 酒井邦夫、木村元政、伊藤猛、樋口健史、大久保真樹、藤田勝三：MRスペクトロスコーピーによる放射線治療効果の予測に関する研究、INNERVISION 5(6)：7-8, 1990
2. 稲越英機：乳癌をめぐる諸問題－乳癌の放射線治療－、新潟医学会雑誌 104：169-174, 1990
3. 稲越英機、酒井邦夫、斎藤眞理、登木口進、他：脳原発悪性リンパ腫の放射線治療－照射効果と放射線脳障害の解析－、日本放射線腫瘍学会誌 2(3)：219-231, 1990
4. 小田野幾雄、酒井邦夫：SPECTによる脳の画像診断、画像診断 10：469-480, 1990
5. 秋田眞一、小田純一、椎名真、酒井邦夫：FCR画像の臨床評価－臨床各科医師に対するアンケート調査の分析、臨床放射線 35：483-488, 1990
6. 樋口健史、伊藤寿介、登木口進、横山恵美子：瘻管発作と異所性灰白質、臨床放射線 35：725-728, 1990
7. 伊藤猛、酒井邦夫、大久保真樹、藤田勝三：表在性悪性腫瘍の治療に伴う31P-MRSの変化、日本磁気共鳴医学会誌 10：75-82, 1990
8. 小田純一、酒井邦夫：平成元年度新潟市肺がん検診の集計結果、新潟市医師会報 20：2-5, 1990
9. 小田野幾雄、酒井邦夫：パーキンソン病の核医学による画像診断、映像情報 22：927-930, 1990

10. 横山恵美子、伊藤寿介、登木口進、他：頭蓋骨黄色腫の1例、臨床放射線 35(9)：1057-1060, 1990
11. 武田正之、木村元政、椎名真、他：原発性副甲状腺機能亢進症の局在診断法とその成績、日本泌尿器科学会誌 81：707-712, 1990
12. 小田野行男、酒井邦夫：SPECTによる脳の画像診断、画像診断 10：469-480, 1990
13. 木村元政、山岸広明、酒井邦夫：大動脈および腹部血管撮影における ioversol (MP-328)の臨床検討、臨床医薬 6(suppl. 3)：13-22, 1990
14. 木村元政：カテーテル検査法とカテーテル治療法の現況；四肢血管カテーテル法 DSA、新潟医師会報 484(別冊)：18-20, 1990
15. 木村元政：MRI の臨床 MR アンジオグラフィー、新潟医学会雑誌 104：734-737, 1990
16. 武田正之、片山靖士、小田野行男、他：尿管ステント留意時の尿流動態－利尿剤負荷レノグラフィによる検討－、日泌尿会誌 81：1720-1724, 1990
17. 西原眞美子、加村毅、木村元政、小田野行男、酒井邦夫：痴呆における 123I-IMPSPPECT、新潟核医学懇話会記録 11：20-22, 1990
18. 木村元政、加村毅、西原眞美子、酒井邦夫、他：肥大型心筋症における心電図同期心プールシンチグラフィを用いた拡張早期指標算出の問題点(臨床例における検討)、新潟核医学懇話会記録 11：11-15, 1990.
19. 石黒淳司、木村元政、他：非インスリン依存性糖尿病、患者における Dipyridamole 負荷心筋シンチと冠動脈病変、新潟核医学懇話会記録 11：1-3, 1990.
20. 大塚英明、木村元政、他：急性心筋梗塞の部位診断における 99mTc、201Tl 2 核種同時収集 SPECT B(Bull's eye 表示)の有用性について、新潟核医学懇話会記録 11：7-10, 1990
21. 荒井誠、木村元政、加村毅、西原眞美子、他：肥大型心筋症における心電図同期心プールシンチグラフィを用いた拡張早期指標算出の問題点(心臓動態ファントムによる検討)、新潟核医学懇話会記録 11：16-19, 1990
22. 加村毅、佐藤玲子、西原眞美子、木村元政、酒井邦夫：原発性副甲状腺機能亢進症の核医学的診断法の限界、新潟核医学懇話会記録 11：32-35, 1990
23. 小田野行男：Neuroreceptor mapping の理論と実際、新潟核医学懇話会記録 12：1-6, 1990
24. 木村元政、酒井邦夫、他：123I-MIBG 心筋シンチグラフィーの使用経験、新潟核医学懇話会記録 12：15-20, 1990.
25. 斎藤眞理：放射線脳障害における線量－容積－効果関係の評価、日本放射線腫瘍学会誌 2(3)：171-179, 1990
26. 伊藤猛、木村元政、酒井邦夫、他：MRS の臨床応用、新潟医学会雑誌 104(9)：738-742, 1990
27. 岡本浩一郎、伊藤寿介、登木口進：正常若年成人の脳梁の MR 画像所見、日本医学放射線学会雑誌 50(8)：954-963, 1990
28. 岡本浩一郎：脳の MRI 診断、新潟医学会雑誌 104(9)：702-706, 1990
29. 小田純一：胸部単純 X 線撮影における FCR (Fuji Computed Radiography)の画像評価 基礎的および臨床的検討、日本医学放射線学会雑誌 50(12)：1485-1498, 1990
30. 大久保真樹、酒井邦夫、伊藤猛、他：マウス移植腫瘍の増殖に伴う 31P-MRS の変化、日本磁気共鳴医学会雑誌 10(4)：285-293, 1990
31. 武田敬子、西原眞美子、木村元政、他：腹部骨盤領域における Gd-DTPA の有用性について、薬理と治療 18(6)：2489-2496, 1990
32. 武田敬子、西原眞美子、木村元政、他：腹部骨盤領域の MRI 診断、新潟医学会雑誌 104(9)：726-733, 1990